取付 / 取扱説明書

REAR CAMERA ADAPTER RCA004H

ホンダ/マツダ車用 リアカメラ接続アダプター

本製品は、各社のディーラーオプションのリアカメラを市販モニター（ナビゲーション）に接続するためのハーネスです。

ディーラーオプションとは・・・車両購入時に追加オプションとして自動車ディーラーで装着する装備品

Data System 株式会社 データシステム Homepage URL http://www.datasystem.co.jp/

■ 東京都新宿区新宿 1-18-2 TEL.03-5369-4137（代）
■ 岡山県倉敷市神田 1-1-11 TEL.086-445-1617(代) FAX.086-440-1635
自動音声案内に従って下記の #（シャープ）と番号を押してください。
#1 適合確認 #2 サービス（技術的なお問い合わせ・修理受付）#3 在庫確認・ご注文
（※コレクトコールによるお問い合わせは受付致しかねますので予めご了承ください）

パーツリスト （揃っているか取付前に必ずご確認ください）

●製品本体 ● RCA 変換アダプター ●取付 / 取扱説明書（本書）
●結束バンド 2 本 ●エレクトロタップ 2 個 ●両面テープ

重要・・・本製品を取り付ける前に知っておいていただきたいこと

●取り付けるモニター（ナビゲーション）にリアカメラ入力端子（ピンジャック）があることを確認してください。
●車についているリアカメラがディーラーオプションのカメラであることを確認してください。
●本製品は、ホンダ/マツダ車のディーラーオプションのリアカメラを市販のモニター（ナビゲーション）に接続するための接続アダプターです。この接続アダプターに、市販のリアカメラは取り付けできません。
●必要な場合はビデオ延長ケーブルを別途ご購入してください。
●ガイドラインはモニター（ナビゲーション）で設定してください。モニター（ナビゲーション）にガイドラインの表示機能がない場合には表示できません。

注意事項

本書には取り付け/ 取り外し作業中の事故、または不適切な作業による車両損傷などにより、安全と信頼性が損なわれないよう守るべき項目を記載しています。ただし、これらの表記は起こり得るあらゆる現象に関して、すべて記載することはできないため、これらの記載事項さえ守れば良いという絶対的なものではないことをあらかじめご了承ください。

注意・・守らないと車および製品を破損、または故障させる恐れがあるもの

●取り付け前に、必ずエンジンを停止させバッテリーマイナス端子を外してください。ただし、その場合はラジオや時計等のメモリー内容が消えてしまいます。消えてしまうと困るメモリーの内容は、バッテリーマイナス端子を外す前に必ずメモしておき、取り付け完了後、再度入力してください。
●テレビモニターおよびチューナー等を点検、修理に出される際には必ず本製品を取り外してください。本製品を含みアフターパーツ類を取り付けしている場合、ディーラーによってはメーカー保証が受けられない場合があります。
●本製品を使用、操作したことによって発生した、人身・物損事故の責任・補償は一切負いません。
●ユニット内のカセット、音楽ディスク、地図ディスク等すべてイジェクトしてから、脱着作業を行ってください。
●コネクターを外すときは、コネクターの抜け防止爪をしっかり押し込み、まっすぐ引き抜いてください。コネクターを無理に引っ張ると、車両側ユニット内の基板が破損する恐れがあります。
●配線部分を引っ張ることは絶対にしないでください。断線、接触不良を引き起こす恐れがあります。
●コネクターを接続するときは、カチッと音がするまで奥まで確実に差し込んでください。
●本製品は、必要に応じて配線部を結束バンドで固定してください。固定しないとコネクターの接触不良、配線の断線の恐れがあります。
●本製品を取り付ける際は、ハーネス、配線等がパネルやシートレール、ペダル等に噛み込まれたり挟まれる可能性のある場所には絶対に設置しないでください。製品の破損やハーネス断線等の恐れがあります。
●本製品の取り付けには専門知識が必要ですので、販売店または整備工場などに作業を依頼してください。
●適合外の車両へ取り付けて発生したクレーム、事故、故障等に関しての責任は弊社では一切負いません、あらかじめご了承ください。

取付方法

この取付説明は、すでにディーラーオプションのモニターを取り外して新しいモニター（ナビゲーション）が取り付けられていること、またモニターユニットにリアカメラ入力端子（ピンジャック）があることを前提にしています。

モニターとは別のユニットにリアカメラ入力端子がある場合は、別途延長ケーブルを用意してください。

本製品の接続をはじめる前に、モニターにバックランプ電源（バック信号）が接続されていることを確認してください。接続されていない場合は、先に接続してください。

1.バッテリーのマイナス端子を外します。

2.モニター本体を外します。

3.ディーラーオプションのモニター裏側に配線されていたカメラコネクターと本製品のコネクターを接続します。

4.本製品から出ている3本の配線を接続します。赤線はACC電源に、黒線はボディアースに、紫線をバック信号に接続します。

5.本製品の黄色ピンプラグを現在使っているモニターのリアカメラ入力端子に接続します。

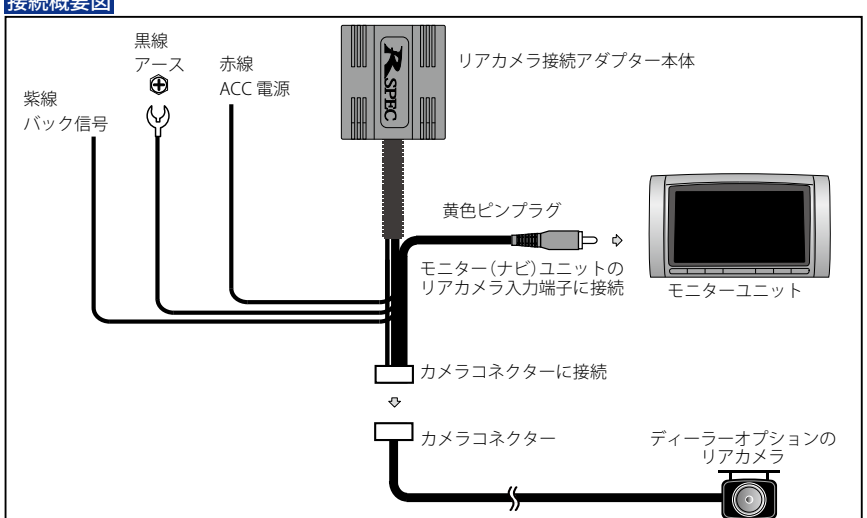
6.モニターが動作する状態にしてバッテリーマイナス端子を接続します。

7.シフトレバーを「R（リバース）」にしてモニターの画面がリアカメラに切り替わることを確認してください。また、「R」以外にシフトを動かしたとき、モニター画面がリアカメラから他の画面に切り替わることを確認してください。

8.映らない場合は電源、アースの接続、リアカメラ接続アダプターとカメラコネクターの接続、車両側のモニターにバック信号が接続されているかなどを確認します。

9. コード類を取り回し、取り外したパネル類を元に戻し取付作業は終了です。

接続概要図



RCA004H-1212YUM-2

RCA004H（ホンダ/マツダ用）接続コネクター

本製品は、既設のカメラコネクター（5ピンコネクター）に接続します。

（ディーラーオプションモニターの裏に接続されていたため、モニターの裏まで配線されています）

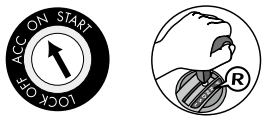
（右図参照）

車両側カメラコネクター
（5 ピンコネクター）

マツダ　アテンザ(H24.11 ～)　バックカメラ設定方法

マツダ アテンザ(H24.11 ～)に本製品を接続した場合、バックカメラの設定が必要です。

1. イグニッションスイッチをONにして、シフトレバーを【R(リバース)】にします。
※ナビゲーション画面に調整モードが表示されます。

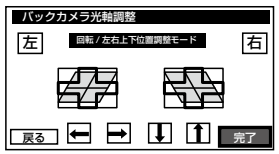


2. ウインカー操作でカーソルを【手動】に移動させ、パッシング操作します。

カーソル操作方法
カーソルを下に動かす:ウインカー操作(右)
カーソルを上に動かす:ウインカー操作(左)
決定する:パッシング操作

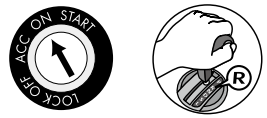
3. ウインカー操作でカーソルを【**工場調整**】に移動させ、パッシング操作します。
※バックカメラ光軸調整画面が表示されます。

4. ウインカー操作でカーソルを【**完了**】に移動させ、パッシング操作すると、バックカメラのカメラ映像が表示されます。
※カメラ映像が表示されるまで20秒程度かかります。



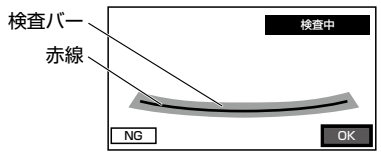
5. シフトレバーを【P(パーキング)】に戻して、イグニッションスイッチをOFFにします。

6. イグニッションスイッチをONにして、シフトレバーを【R(リバース)】にします。
※ナビゲーション画面に調整モードが表示されます。



7. ウインカー操作でカーソルを【**検査**】に移動させ、パッシング操作します。

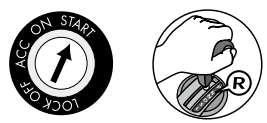
8. ヘッドライトを点灯させ、検査バーに【赤線】が入っていることを確認したあと、ウインカー操作でカーソルを【OK】に移動させ、パッシング操作します。
※「検査完了」画面が表示されます。



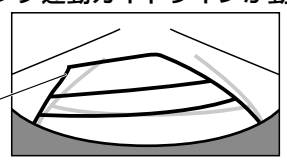
9. 「検査完了」画面が表示されたあと、ヘッドライトを消灯させ、シフトレバーを【P(パーキング)】に戻して、イグニッションスイッチをOFFにします。

10. エンジンを始動させたあと、シフトレバーを【R(リバース)】にします。
※バックカメラの映像が表示されます。

⚠危険
●不用意に車が動かないように輪留めを使用し、サイドブレーキをしっかりとかけてください。また、ブレーキペダルから足が離れないようにしてください。



11. ステアリングを操作したときに、ステアリング連動ガイドラインが動くことを確認して終了です。



RCAØØ4H　補足説明書

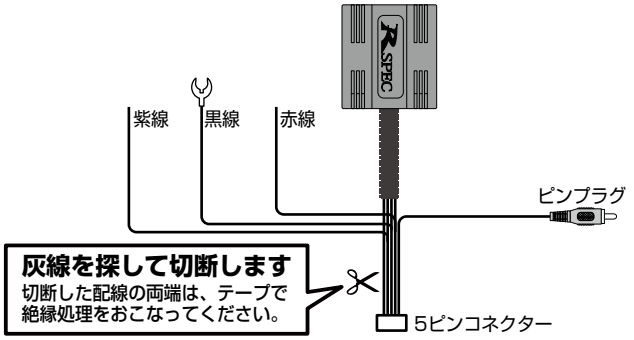
⚠注意　取り付け前にお読みください

下記車両に取り付ける場合は、**必ず灰線を切断してください**。
切断しないと、車両のリアカメラが**破損します**。

灰線の切断が必要な車両　　2013年8月現在

車　種	型　式	年　式	仕様
スペーシア	MK32S	H25.3～	スマートフォン連携ナビゲーション装備車
ラパン	HE22S	H25.6～	スマートフォン連携ナビゲーション装備車
ワゴンR	MH34S	H25.7～	スマートフォン連携ナビゲーション装備車
ワゴンR スティングレー	MH34S	H25.7～	スマートフォン連携ナビゲーション装備車

※該当車種は今後増える可能性があります。弊社の最新適合表で必ずご確認ください。



Data System
株式会社 データシステム